

「現場主義」にこだわり

「33年間の行政経験を生かし、社会のニーズや実務にぴったりと寄り添うよう

県立大学の挑戦

「新任教員」紹介⑦

PR

な教育」に取り組みたい」建設省(現国土交通省)に入り、主に都市計画や開発

地域創造学部 公共政策学科



【プロフィール】

九州大工学部卒、東京大博士(工学)。国交省都市・地域整備局街路交通施設課整備室長などを歴任。担当科目は「政策形成論」。学科長も務める。広島市出身

にしおか せいじ
西岡 誠治 教授 (57)

の分野を歩んだ土木技術者。中でも「都市防災」のスペシャリストだ。

阪神淡路大震災(1995年)後に新設された都市防災専門官として、地震防災のハンドブックを作成。北海道開発局では十勝沖地震(2003年)の現地対応を担った。東日本大震災(11年)時は本省の室長。調査団長として被災地に入り、報告書をまとめた。広島土砂災害(14年)では広島市都市整備局長として、復興計画を策定した。

防災、防犯、環境対応…。「安全なまち」をつくるため、社会や住民のニーズをすくい上げ、実務で仕上げていく作業を繰り返した。

「公的な立場に立って、物事を考えていくことができ、即戦力を育てたい。大学は社会に出て行くための玄関口。世の中は厳しい。私の授業も厳しいですよ」。現場主義にこだわり、社会で役に立つという考え方を重視する。

【随時掲載】

県立大学 県内生は入学科が優遇されます。

0956 (47) 5856